



2023年度 北陸学院大学 出張講座一覧

分野	No.	講座名	概要	キーワード	講師	対象	定員	使用機材等
社会	1	聖書に学ぶ人生観	聖書が語る人生観とはどのようなものでしょう?人生の困難や試練をどう受け止めればよいのでしょうか?旧約聖書に描かれるヨセフ物語を通して、よい人生を生きるヒントを探ります。	聖書 キリスト教 人生観	矢澤 励太 (健康科学部 教授)	一般	40名	パソコン、プロジェクター、スクリーン
	2	顧客満足のためのインターナル・マーケティング	顧客満足のためには良いサービスを提供する必要がありますが、良いサービスを提供するには顧客にサービスを提供する従業員の満足度を向上させていく必要があります。このため、ここでは、従業員を内部顧客とする視点について解説します。	顧客 満足 従業員	平岩 英治 (社会学部 准教授)	一般	40名	パソコン、プロジェクター、スクリーン、HDMIケーブル
	3	災害ボランティアと市民社会	災害発生直後から復興に至るさまざまな場面で、ボランティアは欠かせない存在となっています。この講義では、大学による国内外の被災地支援活動を事例に、ボランティアの社会的役割について考えます。	目の前のひとり 最後のひとり	田中 純一 (社会学部 教授)	中学生 高校生 一般	40名	プロジェクター、スクリーン
	4	外国人労働者と日本の地域社会	1990年代から外国人労働者が増加しています。外国人労働者の増加に伴う日本の地域社会の変容を把握し、文化的背景の異なる人々が同じ地域社会でどのように暮らしてゆけばよいのかについて考えます。	外国人労働者 地域社会	依 希貴 (社会学部 教授)	一般	40名	プロジェクター、スクリーン
	5	イギリス社会保障の歴史〜エリザベス教養法を中心に	16世紀に誕生し、その後世界の社会保障(雇用、医療、介護そして教育等々)に大きな影響を与えたイギリスのエリザベス教養法について、社会経済史という視点から分析し解説していきます。	イギリス経済史 社会史 社会保障	井上 克洋 (社会学部 准教授)	高校生 一般	40名	プロジェクター・スクリーン
	6	なぜ有権者は選挙で投票するのか:石川県の選挙を事例に考える	なぜ有権者は選挙で投票するのでしょうか。この講座では、日本の有権者の投票参加が低下している要因について、近年の政治・社会状況をふまえながら石川県の選挙データの分析から考えます。	政治 選挙 投票参加	若山 将実 (社会学部 教授)	一般	40名	パソコン、プロジェクター、スクリーン
教育	7	英語による英語の授業	最近、文部科学省による英語教育改革が急速に進んでいます。今や、「英語による英語の授業」は当然のことですが、意外にそのノウハウは現場の教員に伝わっていません。実際に英語の授業を体験してみませんか。	英語教育 英語による英語の授業	伊藤 雄二 (教育学部 教授)	英語を教えることに興味のある方	10名	パソコン、プロジェクター、スクリーン、ホワイトボード
	8	小学校英語における意味のあるやり取りについて	小学校に英語授業が本格実施される中で、「意味のあるやり取り」が話題になっています。そのために指導者が大切にすべきこと、準備しておきたいことなどを具体を通して一緒に考えていきましょう。	Small Talk 絵本活用 指遊び	中野 聡 (教育学部 教授)	小学校教員	40名	パソコン、プロジェクター、スクリーン
	9	絵本が与える効果について 触れて・感じて・考えてみよう!	絵本の面白さは絵が語ると言われるように、絵本の「絵」には、人をウキウキ・ドキドキ・ハラハラさせる効果が含まれています。また絵本は、「あなたを映し出す鏡」とも言われます。絵本をじっくりと見つけ、一緒に絵本の不思議について考えてみませんか?	絵本 効果 読み聞かせ	高村 真希 (教育学部 講師)	一般(特に、就学前のお子さんをもつ保護者)	20名	パソコン・プロジェクター・スクリーン
	10	子どももおとなも心が動くとき!	なぜ子どもの育ちに自然環境が必要な?子どもたちは自然と対話し、多様に関わりながら何を学んでいるのでしょうか?つい安全管理ばかりに陥りがちな乳幼児の戸外遊びの姿から「子どもを見守る」本当の意味について一緒に考えていきたいと思います。	自然環境 乳幼児 対話	谷 昌代 (教育学部 講師)	一般(乳幼児を育てる保護者・子どもの育ちに関心のある方) 保育者	20名	パソコン・プロジェクター・スクリーン
	11	幼児期の子どもの育てておきたいこと	時期を逃せば後で身に付きにくい、けれど、身に付けておけば幸せにつながると思われる力がある。その力は一体何か。一緒に紐解きながら、よりよい子育てのあり方について考えていきます。	幼児期 子育て 幼児期の終わりまでに育ててほしい姿	虫明 淑子 (教育学部 教授)	就学前の子どもをもつ保護者	12名	パソコン、プロジェクター、スクリーン
	12	アンサンブルで感じよう -音でつながる心と心-	自分の体や楽器を使って、仲間とのアンサンブルに挑戦します。さて、音を合わせるためにはどのようにすればよいのでしょうか。心と心を通わせ、その時の仲間とともに生み出すことのできる音楽を感じましょう。	音楽 アンサンブル 楽器	武田 恵美 (教育学部 講師)	幼児~大人	10名以上 20名程度	プロジェクター、スクリーン、ホワイトボード、CDプレイヤー、長机、楽器(打楽器・鍵盤楽器)
	13	自分の子育てを不安に思うお母さんたちへ	日本の母親は、他国と比較して自分の育児に自信がなく、自分を責めがちであることが報告されています。自分に対する慈しみや思いやり(セルフ・コンパッション)について一緒に考えてみませんか?	子育て エンバウメント	ポーター 倫子 (教育学部 教授)	子育て期の親 子育て支援者	40名	パソコン、プロジェクター、スクリーン
	14	グループディスカッションのすすめ -みんなで楽しく-	私たちは様々な場面で協働作業を行います。しかし、全員が一生涯作業をしているのに成果が得られない時がありませんか?本講座ではメンバー全員の力を引き出しながら、グループワークでより良い成果を得るためのコツを実践を交えて紹介いたします。	グループディスカッション 役割分担 傾聴	富岡 和久 (社会学部 教授)	中学生 高校生 一般	10名~40名程度 (応相談)	プロジェクターとスクリーンあるいは大型モニター パソコン持参(ケーブルはHDMI/VGAいずれも可)
	15	オノマトペ(擬音語、擬態語)を楽しむ	私たちが知らず知らずのうちによく使っているオノマトペ(擬音語、擬態語)。今回は、定型化されたオノマトペではなく、子どもが成長過程の中で発するオノマトペについて、これまでの研究を踏まえて考えます。	オノマトペ (擬音語、擬態語) 子どもの育ち 子どもの言葉	中島 賢介 (教育学部 教授)	一般 保育者 教育者	20名	パソコン、プロジェクター、スクリーン
	16	子どもの世界は「物語」	子どもは、同じ空間にいても、実は一人ひとり異なる世界、それぞれの「物語」の中に生きています。絵本に見られる子どもの姿、園や学校におけるくらしの中の姿をもとに、子どもの世界の面白さや内面理解の視点、大人の関わり方について考えてみましょう。	子どもの世界 一人ひとりの文脈 内面理解	福江 厚啓 (教育学部 准教授)	一般 (保幼小保護者等) 教育関係者	40名	プロジェクター、スクリーン (パソコン持参 VGA、HDMI可)
	17	科学的思考力を育成する理科授業とは	科学的思考力の育成は、理科教育における重要な課題です。本講座では、子どもがどのように科学的思考力を身に付けていくかについて、小学校での授業実践例を紹介しながら説明します。	科学的思考力 小学校 理科授業	川真田 早苗 (教育学部 教授)	小学校教諭 小学生の保護者	20名	プロジェクター、スクリーン (パソコン持参)
情報	18	SNS、その良いところ・怖いところを知ろう	スマートフォン所有率の増加と同時に、SNS利用によるトラブルが多く聞かれるようになってきました。便利なはずの道具が、トラブルを引き寄せることもあります。例を取り上げ、利用する上での注意点を紹介します。	SNS リスク マナー	池村 努 (社会学部 教授)	中学生 高校生 一般	40名 (応相談)	プロジェクター、スクリーン
	19	サイバーセキュリティの仕事あれこれ	皆さんが安心してコンピュータやインターネットを使うために、サイバーセキュリティに関する仕事がたくさんあります。情報社会になればなるほどサイバーセキュリティが重要になります。どんな仕事があるのか子供向け『仕事ファイル』をもとに紹介します。	サイバーセキュリティの仕事 今ある仕事 将来の仕事	村井 万寿夫 (教育学部 教授)	小学校高学年 中学生	40名	プロジェクター、スクリーン
	20	情報の裏側を考える	現代社会は情報が溢れかえっています。情報の海で溺れないためにも情報リテラシーの涵養が重要な課題です。そこで、普段触れる情報を様々な観点から見直してみたいと思います。	情報 情報リテラシー	若杉 亮平 (社会学部 准教授)	一般	30名	プロジェクター(HDMI)、スクリーン

分野	No.	講座名	概要	キーワード	講師	対象	定員	使用機材等
「言語と文化」	21	観光学入門	観光の基礎知識として、観光の概念、観光資源、観光産業について解説します。そして、観光者に対し石川県のどんどこが魅力か、アピールすべきかについて、一緒に考えます。	観光 石川県 地域資源	沢田 史子 (社会学部 教授)	一般	40名	パソコン、プロジェクター、スクリーン
	22	観光地・金沢の魅力を伝える～ガイドのカ～	「観光立国」を目指す日本の人気の観光地の一つとなった金沢。その魅力を伝えるために欠かせない存在であるガイドに必要な力は何なのか？知識、ホスピタリティ、行程管理など多様な視点から魅力的なガイドの条件を考えましょう。	観光 ガイド ホスピタリティ	葦名 理恵 (社会学部 助教)	一般 観光関連	40名	パソコン、プロジェクター、スクリーン、ホワイトボード
	23	ソーシャルメディアで学ぶ英語と異文化	情報化社会において、異文化体験がますます身近になりました。英語は世界共通語としての役割を果たします。英語をツールとして活用しながら、ソーシャルメディアを題材に異文化コミュニケーションを学びましょう。	英語 ソーシャルメディア 異文化コミュニケーション	木村 ゆかり (社会学部 助教)	小学生 中学生 高校生 一般	40名	パソコン、プロジェクター、スクリーン
	24	創作ダンス入門	絵を描くように、音楽を奏でるように、感じたことや考えたことを自由に身体で現わしてみませんか？ダンスの特別な技術は必要ありません。気楽に体を動かしてみましよう。	創作ダンス 身体表現	田邊 圭子 (教育学部 教授)	一般	10～20名	音響機材、マイク（ピンマイク）
	25	ことばから見てくる心--日本語と英語を例に	日本語と英語では、ものの捉え方・表現のしかたが異なるものも共通するものもあります。日英語それぞれから見てくる心の働き、さらに文化についても考えてみましょう。	ことば ものの捉え方 英語と日本語	宮浦 国江 (教育学部 教授)	一般（ことば、英語に関心のある方）	30名	パソコン、プロジェクター、スクリーン
	26	日本の詩歌を英語で読む	日本語と英語は、どちらも詩歌の長い伝統をもっています。この講座では、日本の詩が喚起するイメージが、英訳においてどのように伝えられ、また変容しているかを考察します。	日本の詩歌 英語 翻訳	茶谷 丹午 (短期大学部 助教)	高校生 一般	40名	パソコン、プロジェクター、スクリーン
「福祉・心理」	27	ヤングケアラー支援を考える	ヤングケアラーとは「家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子ども」と定義されます。本講座では、ヤングケアラー支援のあり方について考えます。	ヤングケアラー (子どもケアラー) 若者ケアラー きょうだい児（きょうだい）	松本 理沙 (教育学部 講師)	中学生 高校生 一般	20名	プロジェクター、スクリーン (パソコン持参 HDMI可)
	28	人間のモラルと社会	性善説や性悪説など、人が道徳的であるかどうかは広く議論されてきました。この講座では、最新の道徳心理学の知見から、人間社会の傾向、人間の道徳・倫理観について考えます。	道徳性 利他行動 共感	加藤 仁 (社会学部 講師)	高校生 一般	40名	プロジェクター、スクリーン、スピーカー
	29	相手の話を聴く上で大切なことは？	私たちが日常の人間関係において相手の話をよく聴くことは、人間関係を円滑していく上で大切なことだと思います。普段の自分の話の聴き方について振り返り、よりよい話の聴き方（傾聴）において大切なことを考えてみたいと思います。	傾聴 カウンセリングマインド 話の聴き方	齊藤 英俊 (教育学部 准教授)	高校生 一般	40名	パソコン、プロジェクター、スクリーン
	30	共生社会のことを知ろう	いま社会では、障害のあるなしに関係なく、お互いを尊重し、理解し合いながら共に生きていく「共生社会」の実現に向けた様々な取り組みが行われています。また、関連して「こころのバリアフリー」という考え方もあります。これらを正しく理解するとともに、見落とされがちな大切なことを考えます。	共生社会 こころのバリアフリー	田引 俊和 (社会学部 教授)	高校生 一般	40名	パソコン、プロジェクター、スクリーン
	31	ケアが変わる記録の方法	「記録に自信がない」「書きたいことがまとまらない」等、ケアに携わる方からよく聞かれる言葉です。この講座では、ケアの経過記録を中心に、適切な記録の書き方について学んでいきます。記録を書く力を高め、ケアの質の向上に繋がっていただければ幸いです。	ケアの質 記録	真砂 良則 (社会学部 教授)	福祉従事者	30名	パソコン、プロジェクター、スクリーン、ホワイトボード
	32	生徒同士の助け合いを支えるピア・サポート	いじめの改善や予防のためにアメリカ、カナダ、イギリスを中心にピア・サポートが行われてきました。日本にも導入されている生徒同士の助け合いを促進するためのピア・サポートについて解説します。	ピア・サポート 学校	松下 健 (社会学部 教授)	高校生 教育関係者	20名	パソコン、プロジェクター、スクリーン、ホワイトボード、社会的距離をとれる部屋
	33	つながる心、離れる心	ウィズコロナの生活は、人と人との物理的距離を広げました。では、心の距離はどうでしょうか。新型コロナウイルスの流行は人の心や行動にどのように影響しているのか？人と人とのつながりについて、今一度、心理学の視点から考えてみませんか？	心理学 距離知覚 孤独・孤立	松尾 藍 (社会学部 講師)	一般	40名	パソコン、プロジェクター、スクリーン
「食生活」	34	健康な食事に欠かせない野菜を上手に食べよう！	現代の食生活について、とくに若い世代の野菜の摂取量が他の世代より少ないことが指摘されています。「野菜は1日どれくらい必要なのか」「どんな組み合わせがいいのか」などについて知り、野菜を上手に食べる秘訣を学びましょう。	健康な食事 野菜の摂取量	田中 弘美 (健康科学部 教授)	一般 (学生含む)	40名程度	プロジェクター、スクリーン
	35	食生活と健康づくり	健康づくりには、「栄養」「運動」「休養」の3つのバランスが大切ですが、中でも、栄養（食生活）が基本となります。今、食に関する問題が多く提起されている中で新しい話題を取り上げながら、日々の食生活について考えます。	健康 栄養 食生活	健康科学部 栄養学科 短期大学部 食物栄養学科	一般	40名	パソコン、プロジェクター、スクリーン
	36	「じわもん」ってなんや？ -地産地消と郷土料理-	国内だけではなく、世界中の食べ物を手に入れることができるなか、地域の食材が注目されています。一方、「和食」が世界無形文化遺産に登録され、伝統的な食への関心も高まっています。ここでは、いしかわの食材や郷土料理を取り上げます。	食文化 地場産物 郷土料理	健康科学部 栄養学科 短期大学部 食物栄養学科	一般	40名	パソコン、プロジェクター、スクリーン

*使用機材等については、ご要望に応じて調整いたします。

出張講座について

北陸学院大学では地域貢献事業の一環として、出張講座を行っています。

上記一覧に記載の講座について、定員以内の講座は無料で実施しております。講師謝礼・交通費などの諸費用は本学が負担します。※石川県内のみ

定員以上での実施をご希望の場合や石川県外の場合は「講演会」となりますので、講師謝礼・交通費をご負担ください。(金額は任意) 講座内容については講師とご相談ください。

こども園・保育園・幼稚園・小学校・中学校・高等学校の保護者向けの講座や、職員研修、また小学生・中学生・高校生向けの講座として、ぜひご利用ください。

お申込み方法・流れ

1. 北陸学院大学ホームページ「地域教育開発センター」内、「出張講座」にある「出張講座申込書」(Excel)に必要事項をご記入の上、メールに添付してお申込みください。

Email : redec@hokurikugakuin.ac.jp

2. 申込受付後、講師と日程調整の上、ご連絡いたします。※講師によっては、送迎をお願いする場合があります。

3. 講座開催決定後、代表者名で北陸学院大学学長宛に依頼文書(様式は任意)をご提出ください。

4. 講師との事前打ち合わせ等が必要な場合はご連絡ください。

5. 講座実施日は、機材等の準備をお願いいたします。

※当日アンケートを持参いたしますので、ご協力をお願いいたします。回収後、ご返送ください。(恐れ入りますが、郵送料はご負担下さい。)

*「講演会」をご希望の場合は「出張講座申込書」の提出は不要です。TEL : 076-280-3850(代表)までご連絡いただき、講師と直接お話しください。

●講座開催決定後、やむを得ない理由によりキャンセルされる場合は、原則講座開催日の一週間前までにご連絡ください。

< お問い合わせ >



北陸学院大学

地域教育開発センター

〒920-1396 石川県金沢市三小牛町イ11

TEL : 076-280-3856

Email : redec@hokurikugakuin.ac.jp